



世界における株価の上昇スパイラルとその危うさ

令和6年3月8日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

これらは先端産業がけん引する株価の上昇を世界のすべての市場で有することであり、資本の流入を与えているものである。

しかし実体性を考えるとき、必ずしもそれらが確固とした基盤を有するものではない。これら現実が一つの虚像を得るという判断を与えるものである。

企業の実体性への正しい評価が株式において求められるならば、これら判断を得る。唯一先端産業が、ダイヤモンドや金の希少性と同じ評価を得ることは理解できるものである。

他方においては世界における資本が株式に流入していることは、その変化として理解されるべきである。

これらは経済が、その好調さとともに、新しい豊かさを有することであり、それらは社会変化を誘発しているのである。

これらは企業への新たな価値の創出が存在するという理解は正しいのである。これらは新しい技術文明という創造が、これらを行うっているのである。

これらは既存産業と社会が内部変化を有することであり、それらは構造変化を行っているのである。

これらは新しい未来という基準への参加をすべての企業が要求されるという判断を与えるものである。

これらは歴史的な既存価値観が転換しているということは必ず正しいのである。これらは新しい未来の創出が、新しい価値と判断において存在することなのである。

アナログの手工業という現実から、技術と自動化という現実への転換は、IT システムという現実とともに、完全に既存価値観の崩壊と転換を与えているのである。

